法定 自主

# 産業廃棄物処理計画書

令和4年6月30日

神奈川県知事 殿

提出者

住 所 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー34階

東京セキスイハイム(株)東京営業本部 氏 名 東京営業本部長 織田 潤

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5320-8112

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理 に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	の名称	東京セキスイハイム株式会社 東京営業本部 神奈川支店 自主管理番号 ( 2288 )							
									)		
事業場の所在地			) 所在地	横浜市戸塚区川上町87-1 ウェルストン1ビル4階			TEL(連	絡先):	045-820	0-5261	
計 画 期 間											
当	亥	業	場におい	て現に行っている事業に	関する事項						
	① 事業の種 類			D-建設業 (具体		(具体的には)	一般住宅(軽量鉄骨・木質)の販売及び 施工			の販売及び	
	2	事模	業の規	製造業	製造品	品出荷額			百万円		
			前年度実績を 、医束機関は 度末時点の 数を記入。	建設業	エリア内元請完成工事高				5,178	百万円	
	記.	入、图		医療機関	病床数		床				
				その他の業種	也の業種売上高			百万円			
				(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)							
	(3	)彷	業員数	329名							
	(4)	) 第 <b>5</b> .	業廃棄 の一連 処理の 記程	【新築】処理フロー:「施工現場」⇒「広域認定集積拠点(厚木市)」 →「広域認定施設(埼玉県蓮田市)」→ 再資源化 【解体】収集及び処理を業者委託している ○廃プラスチック ⇒破砕・圧縮⇒ 再資源化or最終処分(埋立) ○紙くず ⇒破砕⇒ 再資源化 ○木くず⇒破砕⇒ 再資源化・埋立処分(埋立) ○繊維くず⇒破砕⇒ 再資源化 ○金属くず⇒破砕⇒ 再資源化 ○の金属くず⇒破砕⇒ 再資源化 ○かフィーンクリート・陶磁器くず ⇒破砕⇒ 再資源化・最終処分(埋立) ○がれき類⇒破砕⇒ 再資源化 ○混合廃棄物その他 ⇒破砕選別⇒ 再資源化・最終処分(埋立)or最終処分(埋立)							

産ӭ	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
	(管理体制図)							
	別紙のとおり							
産シ	業廃棄物の排出	の抑制に関する事項						
		【前年度(令和3年度)実績】						
		産業廃棄物の種類数	9	種類	* 種類ごとの前年度排出			
		① 排出量	1,987.3	t	量は、別紙のとおり。			
			1,007.0	٠				
		 (これまでに実施した取組)						
	① 現状							
	· 5.7/	【新築】						
		・現場排出量調査し、部材展開数量						
		・工場部門を交えた会議時に部材展	展開数量情報をフィ-	ードバックし改善	を図る			
		┃・広域認定システムの運用 【解体】						
		L   F   M   J   ・施主様に旧家屋廃材(蛍光管等)	の解体着工前処理を	を全現場説明!.	その理解を図る			
		旭工塚に旧水圧虎羽(玉九百年/	070年1年1日上前2012年1	で工列の別の	CONTINUE			
		【(令和4年度)目標】						
		産業廃棄物の種類数	9	種類	* 種類ごとの本年度排出			
		① 排出量	2,005.0	t	目標量は、別紙のとおり。			
		(今後実施する予定の取組)						
	② 計画							
		【新築】	₹1.76 <b>± 1</b> Δ=4					
		・広域認定システムの運用状況確認	総と以善快討					
産氵	業廃棄物の分別	に関する事項						
		(分別している産業廃棄物の種類及	び分別に関する取組	1)				
	① 現状	【新築】 広域認定システムに即した形の分別一覧表を用いて、その運用を図っている						
	【解体】 11分別・・・マニュアル運用中 解体施工店との会議(月1回)や施工現場パトロールで分別の徹底を促す							
(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	② 計画							
		【新築】・分別状況の事例展開によ	り、分別搬出の徹底	を図る				

Δi	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
-	コリノ圧未洗来	【前年度(令和3年度)実績】							
					* 種類ごとの前年度自ら				
		②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t	再生利用量は、別紙のと				
		(これまでに実施した取組)			おり。				
		(これなでに大心した収祉)							
	@ TB.11								
	① 現状								
		—							
		【(令和4年度)目標】							
		②+⑧ 自ら再生利用を行う産業	0.0		* 種類ごとの本年度自ら				
		廃棄物の量	0.0	t	再生利用量は、別紙のと おり。				
		(今後実施する予定の取組)			00 70				
	② 計画								
		V - Looks m. on Last a							
目	ってつ産業廃業	物の中間処理に関する事項							
		【前年度(令和3年度)実績】							
		⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄	0		* 種類ごとの前年度自ら 熱回収を行った量は、別				
		物の量	U	t	黙回収を行つに重は、別 紙のとおり。				
					* 種類ごとの前年度自ら				
		⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	t	中間処理により減量した				
					量は、別紙のとおり。				
	① 現状	(これまでに実施した取組)							
	① 現仏								
		_							
		【(令和4年度)目標】							
					 * 種類ごとの本年度自ら				
		⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物	0.0	t	* 怪短ことの本年及目ら 熱回収を行う量は、別紙				
		の量		_	のとおり。				
		⑦ 自ら中間処理により減量する産			* 種類ごとの本年度自ら				
		業廃棄物の量	0.0	t	中間処理により減量する				
					量は、別紙のとおり。				
	② 計画	(今後実施する予定の取組)							
		—							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
-	2117/11/20212.	【前年度(令和3年度)実績】						
		③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら 埋立処分又は海洋投入 処分を行った量は、別紙 のとおり。			
	① 現状	(これまでに実施した取組)						
		【(令和4年度)目標】						
		③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら 埋立処分又は海洋投入 処分を行う量は、別紙の とおり。			
		(今後実施する予定の取組)						
	② 計画							
産	 業廃棄物の処理	の委託に関する事項						
		【前年度(令和3年度)実績】						
		⑩ 全処理委託量	1,987.3	t				
		① 優良認定処理業者への処 理委託量	416.5	t				
		② 再生利用業者への処理委託量	1,855.4	t	* 種類ごとの前年度処理 委託量は、別紙のとおり。			
	① 現状	③ 熱回収認定業者への処理 委託量	0	t				
		<ul><li>⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</li></ul>	0	t				
		(これまでに実施した取組)						
		・優良認定処理業者への持ち込みも	<b>生</b> 進					

(第5面)

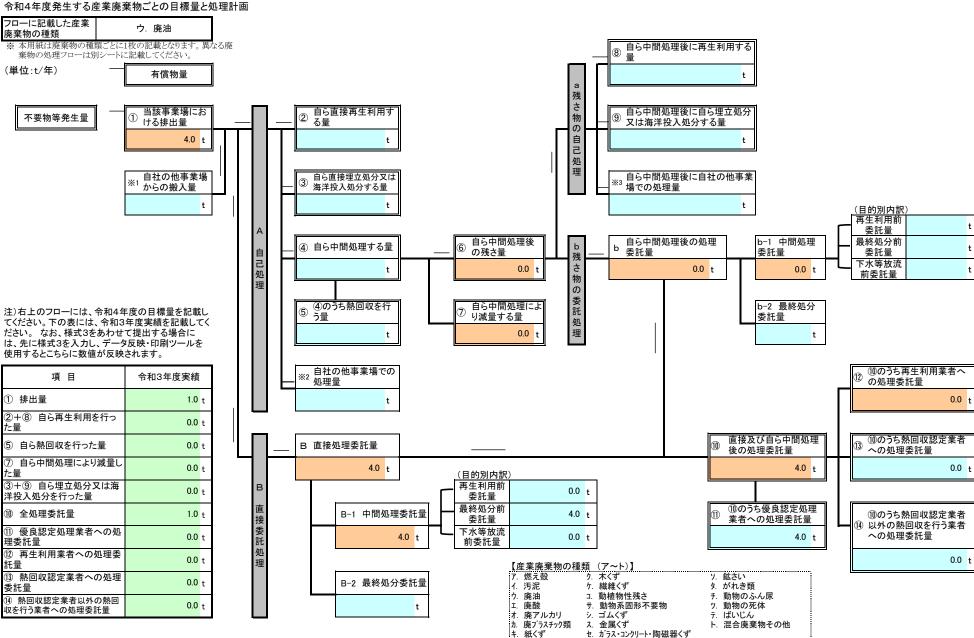
				第5面)		
		(;	令和 4 年度)目標】			_
	② 計画	10	全処理委託量	2,005.0	t	
			① 優良認定処理業者への処 理委託量	496.0	t	* 種類ごとの本年度処理 委託量は、別紙のとおり。
			<ul><li>① 再生利用業者への処理委託量</li></ul>	1,944.5	t	
			③ 熱回収認定業者への処理 委託量	0.0	t	
			<ul><li>(4) 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</li></ul>	0.0	t	
			∵後実施する予定の取組) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	進		
*	事務処理欄					

## 備考

- 1 この様式は、前年度(令和3年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
  - また、前年度(令和3年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあっては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和4年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高 (前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前 年度の実績を記入してください。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の 処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 ※欄には、何も記入しないでください。

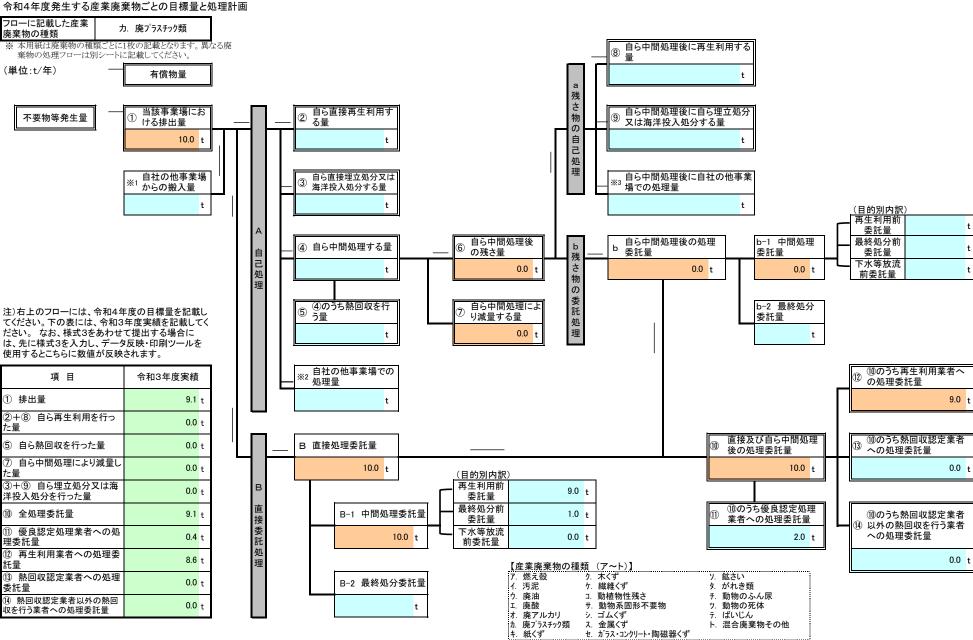
事業場名称 : 東京セキスイハイム株式会社 東京営業本部 神奈川支店

別紙処理フロー



事業場名称 : 東京セキスイハイム株式会社 東京営業本部 神奈川支店

#### 別紙処理フロー



| 該当する欄に〇印を記入してください。 | 2-2 | 法定 | 自主

別紙処理フロー 事業場名称 : 東京セキスイハイム株式会社 東京営業本部 神奈川支店 令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画 「紙くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外 フローに記載した産業 キ、紙くず 廃棄物の種類 【該当業種】パルプ、紙又は紙加工品の製造業、新聞業(新聞巻取紙を使用して ※本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃 自ら中間処理後に再生利用する 印刷発行を行うもの)、出版業(印刷出版を行うもの)、製本業、印刷物加工業、建 棄物の処理フローは別シートに記載してください。 設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの) (単位:t/年) 有償物量 t 残 9 日ら中間処理後に自ら埋立処分 当該事業場にお 自ら直接再生利用す 不要物等発生量 2 物 ける排出量 る量 又は海洋投入処分する量 ത 自 1.0 t 処理 自社の他事業場 自ら直接埋立処分又は 自ら中間処理後に自社の他事業 \*3 場での処理量 からの搬入量 海洋投入処分する量 (目的別内訳) 再生利用前 委託量 自ら中間処理後 自ら中間処理後の処理 b-1 中間処理 最終処分前 ④ 自ら中間処理する量 自己処理 の残さ量 委託量 委託量 委託量 下水等放流 さ 0.0 t 0.0 t 0.0 t 前委託量 物 の 委託 自ら中間処理によ b-2 最終処分 4)のうち熱回収を行 ⑤ 5量 注)右上のフローには、令和4年度の目標量を記載し ⑦ り減量す<u>る量</u> 委託量 処理 てください。下の表には、令和3年度実績を記載してく ださい。 なお、様式3をあわせて提出する場合に 0.0 t t t は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを 使用するとこちらに数値が反映されます。 自社の他事業場での ⑩のうち再生利用業者へ 項目 令和3年度実績 **※**2 処理量 の処理委託量 排出量 0.2 t 1.0 t ②+⑧ 自ら再生利用を行っ 0.0 t 直接及び自ら中間処理 ⑩のうち熱回収認定業者 ⑤ 自ら熱回収を行った量 0.0 t B 直接処理委託量 後の処理委託量 への処理委託量 ⑦ 自ら中間処理により減量し 0.0 +1.0 t 0.0 1.0 t た量 (目的別内訳) ③+9 自ら埋立処分又は海 再生利用前 В 1.0 t 0.0 t 洋投入処分を行った量 委託量 最終処分前 ⑩のうち優良認定処理 直接委託処理 10 全処理委託量 B-1 中間処理委託量 0.2 +0.0 +⑩のうち熱回収認定業者 委託量 業者への処理委託量 (4) 以外の熱回収を行う業者 ① 優良認定処理業者への処 下水等放流 への処理委託量 0.2 t 1.0 t 0.0 t1.0 t 理委託量 前委託量 ① 再生利用業者への処理委 0.2 t 0.0 託量 【産業廃棄物の種類 (アート)】 ク.木くず ③ 熱回収認定業者への処理 ア. 燃え殻 ソ. 鉱さい 0.0 t B-2 最終処分委託量 ケ 繊維くず 化 汚泥 タ. がれき類 委託量 ウ. 廃油 コ. 動植物性残さ チ. 動物のふん尿 4 熱回収認定業者以外の熱回 0.0 t サ. 動物系固形不要物 ツ. 動物の死体 t エ. 廃酸 収を行う業者への処理委託量 オ、廃アルカリ シ. ゴムくず f. ばいじん

カ. 廃プラスチック類

キ. 紙くず

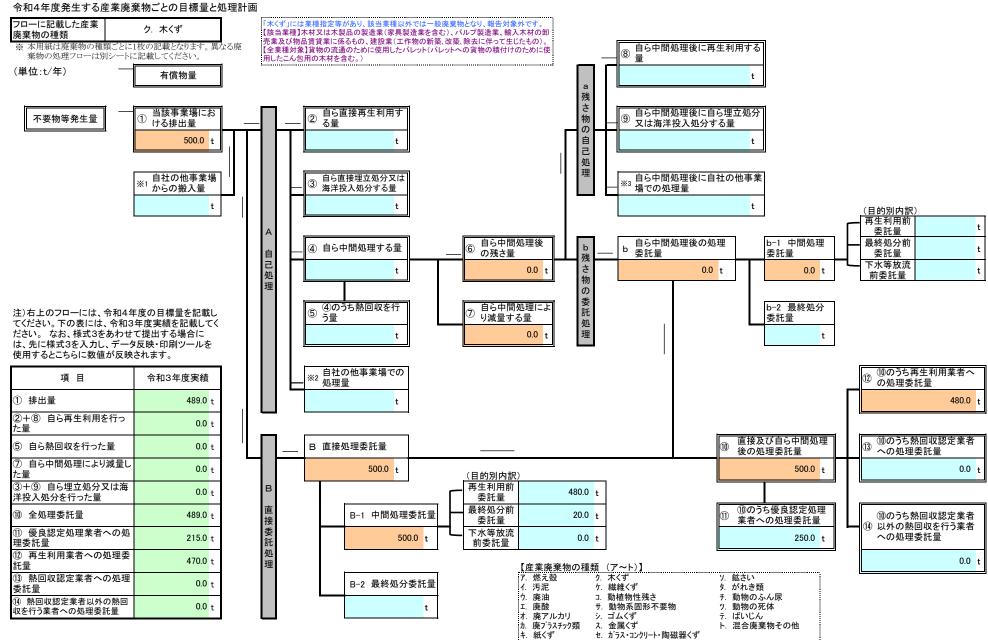
ス. 金属くず

セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

ト. 混合廃棄物その他

## 別紙処理フロー

事業場名称 : 東京セキスイハイム株式会社 東京営業本部 神奈川支店



| 該当する欄に〇印を記入してください。 | 2-2 | 法定 | 自主

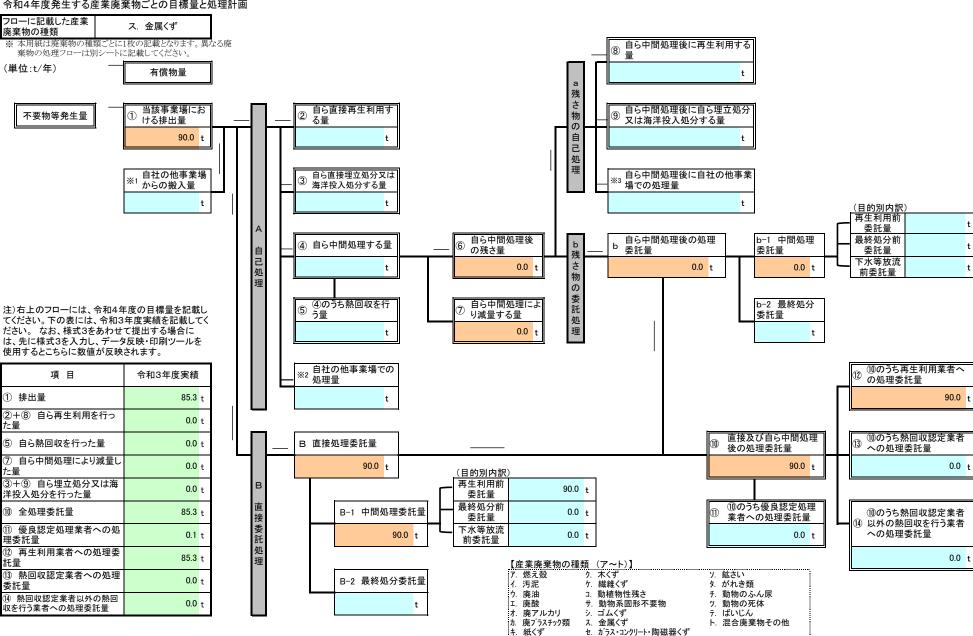
別紙処理フロー 事業場名称 : 東京セキスイハイム株式会社 東京営業本部 神奈川支店 令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画 フローに記載した産業 「繊維くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象 ケ. 繊維くず 廃棄物の種類 ※本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。 【該当業種】繊維工業(衣服その他の繊維製品製造業を除く)、建設業(工作物の 自ら中間処理後に再生利用する 新築、改築、除去に伴って生じたもの) 棄物の処理フローは別シートに記載してください。 (単位:t/年) 有償物量 t 残 9 日ら中間処理後に自ら埋立処分 当該事業場にお 自ら直接再生利用す 不要物等発生量 2 物 ける排出量 る量 又は海洋投入処分する量 ത 自 10.0 t 処理 自社の他事業場 自ら直接埋立処分又は 自ら中間処理後に自社の他事業 からの搬入量 海洋投入処分する量 場での処理量 (目的別内訳) 再生利用前 委託量 自ら中間処理後 自ら中間処理後の処理 b-1 中間処理 最終処分前 ④ 自ら中間処理する量 自己処理 の残さ量 委託量 委託量 委託量 下水等放流 さ 0.0 0.0 t 0.0 t 前委託量 物 の 委託 自ら中間処理によ b-2 最終処分 4)のうち熱回収を行 ⑤ 5量 注)右上のフローには、令和4年度の目標量を記載し ⑦ り減量す<u>る量</u> 委託量 処理 てください。下の表には、令和3年度実績を記載してく ださい。 なお、様式3をあわせて提出する場合に 0.0 t t t は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを 使用するとこちらに数値が反映されます。 自社の他事業場での ⑩のうち再生利用業者へ 項目 令和3年度実績 **※**2 処理量 の処理委託量 排出量 8.3 t 9.5 t ②+⑧ 自ら再生利用を行っ 0.0 t 直接及び自ら中間処理 ⑩のうち熱回収認定業者 ⑤ 自ら熱回収を行った量 0.0 t B 直接処理委託量 後の処理委託量 への処理委託量 ⑦ 自ら中間処理により減量し 0.0 +10.0 + 10.0 + 0.0 た量 (目的別内訳) ③+9 自ら埋立処分又は海 再生利用前 В 9.5 t 0.0 t 洋投入処分を行った量 委託量 最終処分前 ⑩のうち優良認定処理 直接委託処理 10 全処理委託量 B-1 中間処理委託量 8.3 + 0.5 +⑩のうち熱回収認定業者 委託量 業者への処理委託量 (4) 以外の熱回収を行う業者 ① 優良認定処理業者への処 下水等放流 への処理委託量 0.2 t 10.0 t 0.0 t9.0 t 理委託量 前委託量 ① 再生利用業者への処理委 7.8 t 0.0 託量 【産業廃棄物の種類 (アート)】 ク. 木くず ③ 熱回収認定業者への処理 ア. 燃え殻 ソ. 鉱さい 0.0 t B-2 最終処分委託量 ケ 繊維くず 化 汚泥 タ. がれき類 委託量 ウ. 廃油 コ. 動植物性残さ チ. 動物のふん尿 4 熱回収認定業者以外の熱回 0.0 t サ. 動物系固形不要物 ツ. 動物の死体 t エ. 廃酸 収を行う業者への処理委託量 オ、廃アルカリ シ. ゴムくず f. ばいじん カ. 廃プラスチック類 ス. 金属くず ト. 混合廃棄物その他

セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

キ. 紙くず

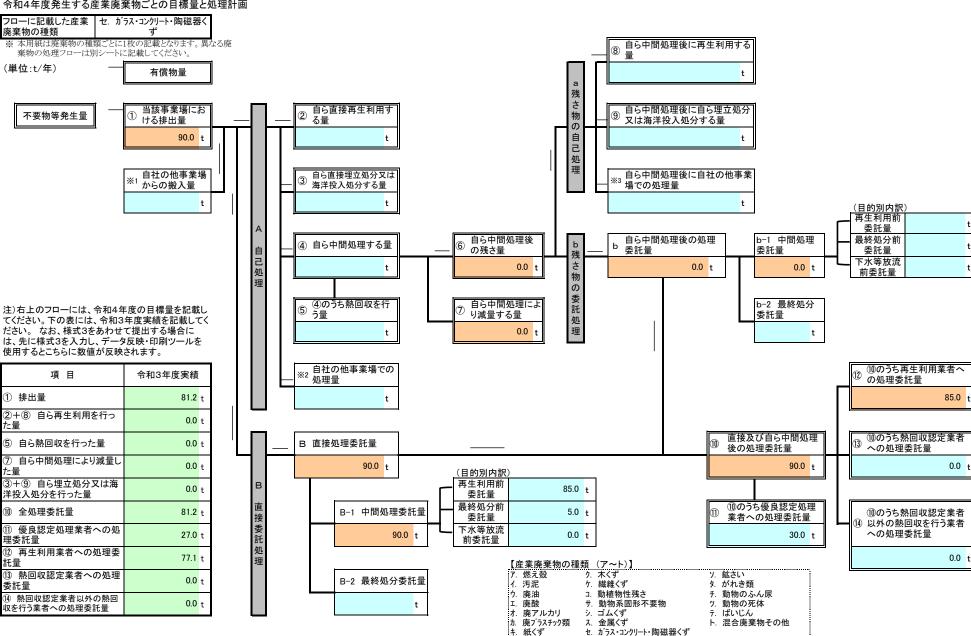
事業場名称 : 東京セキスイハイム株式会社 東京営業本部 神奈川支店

#### 別紙処理フロー



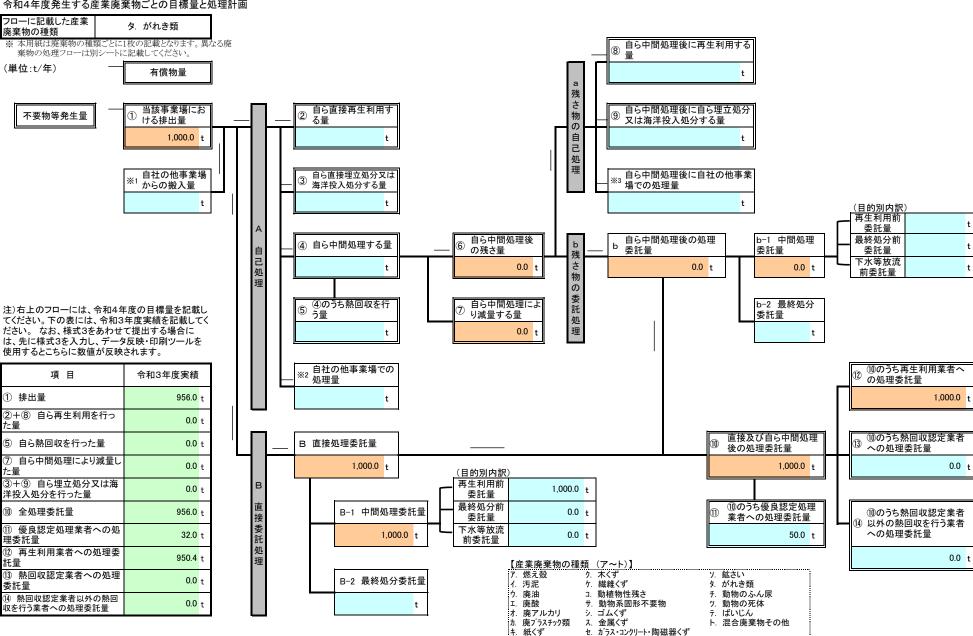
事業場名称 : 東京セキスイハイム株式会社 東京営業本部 神奈川支店

#### 別紙処理フロー



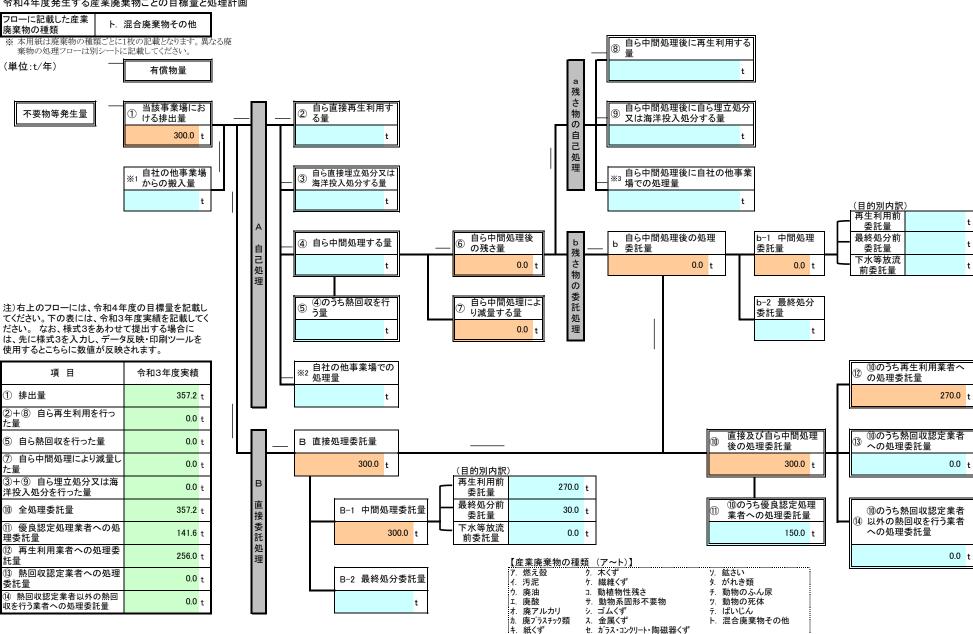
事業場名称 : 東京セキスイハイム株式会社 東京営業本部 神奈川支店

## 別紙処理フロー



事業場名称 : 東京セキスイハイム株式会社 東京営業本部 神奈川支店

#### 別紙処理フロー



自主

該当する欄に〇印を記入し 2-1 法定 O 別紙一括表 事業場名称: 東京セキスイハイム株式会社 東京営業本部 神奈川支店 (単位:トン) + + シ ゥ I カ ス 動植物性 動物系固 ゴムくず 金属くず ガラス・コンクリー ト・陶磁器くず 動物のふ 動物の死 廃アルカ 廃プラスチッ 混合廃棄 燃え殻 汚泥 廃油 廃酸 紙くず 木くず 繊維くず 鉱さい がれき類 ばいじん 合計 残さ 形不要物 ん尿 体 ① 排出量 1.0 9.1 489.0 85.3 81.2 956.0 357.2 1,915.3 8.3 令 ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 0 0 0 0 0 0 0 0 和 ⑤ 自ら熱回収を行った量 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 3 ⑦ 自ら中間処理により減量した量 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 年 3+9 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0 0 0 0 0 0 0 0 度 ⑩ 全処理委託量 1.0 9.1 .2 489.0 8.3 85.3 81.2 956.0 357.2 1,915.3 実 ① 優良認定処理業者への処理委託量 0 .4 .2 215.0 .2 27.0 32.0 141.6 416.5 .1 績 ② 再生利用業者への処理委託量 0 .2 8.6 470.0 7.8 85.3 77.1 950.4 256.0 1,855.4 ③ 熱回収認定業者への処理委託量 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 (4) 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0 0 0 0 ① 当該事業場における排出量 4.0 10.0 1.0 500.0 10.0 90.0 90.0 1,000.0 300.0 2,005.0 ※1 自社の他事業場からの搬入量 ② 自ら直接再生利用する量 ③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量 ④ 自ら中間処理する量 ⑤ ④のうち熱回収を行う量 ※2 自社の他事業場での処理量 ⑥ 自ら中間処理後の残さ量 A ⑦ 自ら中間処理により減量する量 自 a 8 自ら中間処理後に再生利用する量 2000 9 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分 理 理の ※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量 和 自ら中間処理後の処理委託量 b-1 中間処理委託量 年 再生利用前委託量 最終処分前委託量 目 下水等放流前委託量 b-2 最終処分委託量 直接処理委託量 4.0 10.0 1.0 500.0 10.0 90.0 90.0 1.000.0 300.0 2.005.0 B-1 中間処理委託量 4.0 10.0 1.0 500.0 10.0 90.0 90.0 1.000.0 300.0 2.005.0 再生利用前委託量 9.0 9.5 90.0 85.0 1,000.0 270.0 1,944.5 1.0 480.0 最終処分前委託量 4.0 1.0 20.0 .5 5.0 30.0 60.5 託 下水等放流前委託量 理 B-2 最終処分委託量 ① 直接及び自ら中間処理後の処理委託量 4.0 10.0 1.0 500.0 10.0 90.0 90.0 1.000.0 300.0 2.005.0 ① ②のうち優良認定処理業者への処理委託量 4.0 2.0 1.0 250.0 9.0 30.0 50.0 150.0 496.0 ① ⑩のうち再生利用業者への処理委託量 1.000.0 9.0 1.0 480.0 9.5 90.0 85.0 270.0 1,944.5 ③ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処